

赤字：都市圏計画に新たに位置付けたいもの

◎：取組主体、○：連携・協働

施策の分類	施策の方向性（案）		都市圏実施施策の事業区分（案）		事業概要	実施スケジュール（案）					役割分担（案）					
			都市圏での施策の概念を位置付け			市町実施施策の事業区分（案） 具体的な整備箇所・方法を位置付け		R7	R8	R9	R10	R11	行政	交通事業者	住民・利用者	その他
【分類A 維持する】 公共交通の維持	方向性1	公共交通ネットワークの再構築	鉄道の利活用・利便性向上		・盛岡都市圏の基幹ネットワークとしての機能の維持 ・鉄道の運行本数・運行間隔の適正化 ・鉄道の利便性向上に向けた協議	計画策定	実証運行	(実施) 本格運行	(実施) 本格運行	(実施) 本格運行	○	◎				
			広域幹線路線の維持		・鉄道駅を拠点としたまちづくりの展開（立地適正化計画との連携）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	◎	○	○			
			都市圏内移動の利便性向上		・JR田沢湖線における運行間隔の適正化 ・JR東北本線・IGRいわて銀河鉄道におけるパターンダイヤ化	検討協議	実証運行	協議調整	実施	実施	○	◎				
			路線バスネットワークの再構築		・複層的な公共交通ネットワークの構築 ・鉄道との連携 ・幹線・支線への系統分離 ・重複路線の統合 ・盛岡市中心部の運行本数の適正化 ・需要に応じた公共交通ネットワークの検証	計画策定	実証運行	(実施) 本格運行	(実施) 本格運行	(実施) 本格運行	○	◎				
			鉄道並行路線のネットワークの見直し		・IGRいわて銀河鉄道と並行する区間の路線バスネットワークの再編 ・JR東北本線と並行する区間の路線バスネットワークの再編 ・JR田沢湖線と連携した路線バスネットワークの構築	計画策定	実証運行	(実施) 本格運行	(実施) 本格運行	(実施) 本格運行	○	◎				
			重複区間におけるバス路線の集約		・滝沢・みたけ方面の路線バスネットワークの再編	計画策定	実証運行	(実施) 本格運行	(実施) 本格運行	(実施) 本格運行	○	◎				
			補助系統の維持・活用		・広域幹線系統の維持・活用に向けた沿線市町との調整 ・滝沢市内の福祉バス・患者輸送車の再編	検討協議	検討協議	実施	実施	実施	◎	○				
			まちづくりと連携した移動手段の拡充		-	-	-	-	-	-						
			地域拠点の形成に合わせたネットワークの再編		・滝沢市中心拠点形成に合わせた路線の再編（滝沢市内の福祉バス・患者輸送車の再編）	検討協議	実証運行	(実施) 本格運行	(実施) 本格運行	(実施) 本格運行	◎	○				
			再構築による余力を活用した戦略的な路線強化		・人口密度が高い地区や需要が見込める地区への路線バスの拡充 ・BRTやLRT等の新交通システムの研究	検討	検討	実施に向けて検討	実施に向けて検討	実施に向けて検討	◎	○				
			鉄道・路線バスと連携したラストワンマイル交通の充実		・鉄道・路線バスの実質的な利用圏の拡大（シェアサイクル等の導入） ・鉄道・都市圏内幹線路線（路線バス）と連携したまちづくりの展開（立地適正化計画との連携）	検討	検討	実施に向けて検討	実施に向けて検討	実施に向けて検討	◎	○				
			方向性2	鉄道・バス不便地域における移動手段の確保	フィーダー系統の充実による郊外の移動手段の確保		・フィーダー系統や地域内交通における自動運転などの新技術の導入可能性の検討	検討	検討	検討	検討	検討	◎		○	○
	需要や地域特性に応じた交通手段の導入・再編				・スクールバス・患者輸送バス等の地域内交通の見直し ・鉄道・バス不便地区における移動手段の確保 ・輸送サービスを実施している事業者との連携による移動手段の確保	検討協議	検討協議	実証運行	実施	実施	◎		○	○		
	新技術の活用による移動手段の導入検討				・自動運転技術やグリーンスローモビリティ、AI活用による交通サービス等の情報収集・検討	検討	検討	検討	検討	検討	◎					
	地域の輸送資源の活用による地域内交通の形成				-	-	-	-	-	-						
	小さな交通需要に対応した新たな交通サービスの提供				・中山間地区における既存の交通手段を活用した効率的な交通サービスの導入	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	○		◎			
	方向性3	乗務員不足や労働環境の改善			運行の効率化や人手不足に必要な支援の検討		・乗務員の確保に向けたPRポスターの作成 ・乗務員不足の解消に必要な支援のあり方の検討 ・運行の効率化や利用促進に繋がる企画立案 ・乗務員を目指す方向性就職イベントの開催支援	検討協議	実施	実施	実施	実施	◎	○		
			乗務員の処遇・労働環境改善に向けた支援の検討		・交通事業者の経営改善に必要な支援の検討 ・乗務員の労働環境の改善に向けた情報周知 ・接客サービス向上のための教育実施や対応マニュアルの整備	実施に向けて検討	実施に向けて検討	実施に向けて検討	実施に向けて検討	実施に向けて検討	◎	○				

施策の分類	施策の方向性（案）		都市圏実施施策の事業区分（案）	市町実施施策の事業区分（案）	事業概要	実施スケジュール（案）					役割分担（案）			
			都市圏での施策の概念を位置付け	具体的な整備箇所・方法を位置付け		R7	R8	R9	R10	R11	行政	交通事業者	住民・利用者	その他
【分類B 接続する】 交通結節点の形成・強化	方向性4	交通結節点の利便性・機能性向上	乗り継ぎを促進する交通結節点の機能向上		・主要結節点、乗継拠点、鉄道駅・その他拠点に必要な機能や設備の検討及び整備（乗り継ぎ時刻の掲示、待合機能の整備等） ・バス停周辺等の主要拠点の整備（サイクルポート等の整備） ・路線バスの鉄道駅への乗り入れ	計画策定	実証運行 試行	整備に 向けて 検討	整備に 向けて 検討	整備に 向けて 検討	○	◎		
				鉄道駅・主要結節点の整備	・仙北町駅、小岩井駅の周辺環境整備	検討 協議	検討 協議	整備 に向け 調整	実施	実施	◎	○		
				乗り継ぎ負担の軽減	・乗り換え動線の検討 ・主要結節点・乗継拠点のバリアフリー化 ・乗り継ぎ先が分かりやすい表示の設置	実施に 向けて 検討	実施	実施	実施	実施	◎	○		
				待合環境の改善	・交通結節点における待合室の整備 ・冬期における待合環境の改善	実施に 向けて 検討	実施	実施	実施	実施	◎	○		
			公共交通の裾野を広げる交通結節点の活用	-	-	-	-	-	-					
			パークアンドライド、キスアンドライドの推進	・前潟駅・巢子駅・矢幅駅におけるパークアンドライドの推進	実施に 向けて 検討	実施	実施	実施	実施	◎	○			
			交通結節点と連携した地域活動拠点の形成	・小岩井駅を地域拠点としての活用	検討 協議	実施に 向けて 検討	実施	実施	実施	○		◎	○	
		まちづくりと連動した交通結節点の拠点形成	・医療施設や商業施設等と連携したバス停留所の設置	検討 協議	検討 協議	検討 協議	実施	実施	◎	○		○		
	方向性5	乗り継ぎの円滑化	乗り継ぎを考慮した接続状況の改善		・乗り継ぎを考慮したダイヤ設定（鉄道⇔バス、幹線系統バス⇔フィーダー系統バス）	実施	実施	実施	実施	実施	○	◎		
				幹線系統と都市圏内・地域内交通の乗り継ぎ時間の調整	・デマンド交通と鉄道・路線バスの乗り継ぎ性の改善	実施	実施	実施	実施	実施	○	◎		
乗り継ぎを促進する運賃設定の検討			・ICカードをはじめとしたキャッシュレス決済の導入拡大（1つの決済システムで移動を完結） ・乗り継ぎ負担を考慮した運賃設定（乗り継ぎの方が安く運賃を設定） ・ICカード定期券の導入検討（岩手県交通）	検討 協議	実施に 向けて 検討	試行	実施	実施	○	◎				

施策の分類	施策の方向性（案）		都市圏実施施策の事業区分（案）	市町実施施策の事業区分（案）	事業概要	実施スケジュール（案）					役割分担（案）			
			都市圏での施策の概念を位置付け	具体的な整備箇所・方法を位置付け		R7	R8	R9	R10	R11	行政	交通事業者	住民・利用者	その他
【分類C 使いやすい】 機能性 ・快適性の向上	方向性6	利用しやすい公共交通サービスの提供	鉄道駅・バス停の更新・整備		・バス停上屋・待合環境の整備・更新	整備箇所選定	実施	実施	実施	実施	◎	○		
			バス停名称等の統一		・複数事業者で名称が異なるバス停名の統一 ・事業者毎に設置しているバス停柱の統一	検討調整	可能な箇所から実施	可能な箇所から実施	可能な箇所から実施	可能な箇所から実施	○	◎		
			利用しやすいダイヤ設定への見直し		・路線バスのパターンダイヤ化による利便性の向上 ・複数事業者間でのダイヤ調整による回子運転の改善	計画策定	実証運行	再編状況を踏まえ実施	再編状況を踏まえ実施	再編状況を踏まえ実施	○	◎		
			バス停の案内・情報提供の一元化		・案内サインや車両の掲示、デザイン等を含めたわかりやすい確かな公共交通情報の提供 ・バスロケーションシステム等の情報提供の一元化	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	◎	○		
			フィーダー系統のサービス改善				-	-	-	-	-			
				デマンド交通における乗降場所の設定・検討	・新規乗降場所の設定 ・地域乗降場所制度の周知	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	○		◎	
	方向性7	公共交通の信頼性向上	定時性の改善		・バスレーンに関する交通取締の強化 ・一般車のマナーアップ、バス電光掲示板の活用 ・キャッシュレス決済の普及拡大（方向性8でも整理） ・運行情報の提供による不安感解消 ・バス停位置の見直し ・PTPS（公共車両優先システム）の更新 ・余裕のあるバス停車時刻の設定、バス走行ルートの見直し	検討協議	実施に向けて検討	可能なものから実施	可能なものから実施	可能なものから実施	◎	○		
				バスベイの整備	・主要幹線道路や幹線系統のバス路線における道路新設・改良に合わせたバスベイの新設	優先整備箇所選定	整備に向けて協議調整	整備に向けて協議調整	関連事業と併せて実施	関連事業と併せて実施	◎			○
			車両の更新		・ノンステップバス等の車両のバリアフリー化の推進 ・EV・FCV車両、充電・充填設備の導入・整備の検討 ・老朽化した車両の整備・更新、乗り心地の改善	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	○	◎		
			観光に利用しやすい二次交通の充実		・観光資源と連携した交通モードの導入検討 ・二次交通を含めたパッケージ型の観光案内の充実 ・公共交通を活用したアクセス情報の提供 ・盛岡駅だけでなく交通結節点を活用した送迎サービス ・宿泊施設や観光施設における二次交通の利用案内の充実	検討調整	検討調整	実施に向けて検討	実施	実施	◎	○	○	○
			鉄道駅・バス停における観光客への対応・多言語化		・交通結節点や案内サインにおける情報の多言語化 ・バスマップの翻訳による外国語版の作成	検討調整	検討調整	実施	実施	実施	◎	○		
	方向性8	利用しやすい運賃設定や支払い環境の改善	キャッシュレス決済の導入・普及拡大		・ICカードをはじめとしたキャッシュレス決済の普及拡大による、利便性の向上、乗継負担や乗務員負担を軽減	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	○	◎		
			交通事業者の負担の少ないキャッシュレス決済の検討		・キャッシュレス決済による情報取得や機器更新の際に作業・費用負担が少ないシステム等へ導入の検討	検討	検討	検討	検討	検討	◎	○		
			キャッシュレス決済導入に伴うデータの取得・分析の実施		・キャッシュレス決済の導入により得られるデータを活用した運行内容の見直し ・キャッシュレス決済の導入により得られるデータを活用した混雑状況の取得・公開	実施に向けて協議	実施	実施	実施	実施	◎	○		
			新たな運賃体系の検討		・パッケージサービス・企画乗車券等のサービスの実施	検討	検討	検討	実施	実施	◎	○		
			1日乗車券やサブスク方式の導入検討	・MaaSへの対応 ・利用促進に繋がる運賃の検討	検討	検討	検討	検討	検討	◎	○			
			高齢者向けの運賃制度の継続・検討	・まちなか・おでかけバス事業の継続 ・滝沢市・矢巾町における割引制度や運賃体系の検討	事業の継続・実施に向けた検討	事業の継続・実施に向けた検討	事業の継続・実施に向けた検討	事業の継続・実施に向けた検討	事業の継続・実施に向けた検討	◎				
	生活交通を支える運賃の検討		・運転免許証返納者等の外出機会の増加・健康増進につながる運賃の検討	検討	検討	検討	検討	検討	◎					

施策の分類	施策の方向性（案）		都市圏実施施策の事業区分（案）	市町実施施策の事業区分（案）	事業概要	実施スケジュール（案）					役割分担（案）			
			都市圏での施策の概念を位置付け	具体的な整備箇所・方法を位置付け		R7	R8	R9	R10	R11	行政	交通事業者	住民・利用者	その他
【分類D 広げる・考える】 交通インフラとしての定着	方向性9	公共交通の利用促進	公共交通に関する情報の周知		-	-	-	-	-					
				利用者の属性や利用度に合わせた情報提供の実施	・転入者や子育て層、免許返納者、新入生等の新たに公共交通利用が見込まれる利用者への情報提供 ・普段公共交通を利用していない方、通勤・通学で公共交通を利用している方等の公共交通の利用度・認知度に合わせた情報提供の実施	検討	実施	実施	実施	実施	◎	○	○	
			広報誌・スマートフォンアプリ等による情報提供	・広報誌・スマートフォンアプリ等を活用した情報発信 ・SNS等を活用した情報発信 ・JR山田線の利活用	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	◎	○			
			公共交通マップの作成・配布	・都市圏で統一された公共交通マップの作成・掲示	実施（計画期間内・時期要検討）	実施（計画期間内・時期要検討）	実施（計画期間内・時期要検討）	実施（計画期間内・時期要検討）	実施（計画期間内・時期要検討）	◎	○			
			パーソナル公共交通マップ・マイ時刻表の作成	・学生や高齢者等の対象者に合わせたバスマップ、マイ時刻表の作成	実施（計画期間内・時期要検討）	実施（計画期間内・時期要検討）	実施（計画期間内・時期要検討）	実施（計画期間内・時期要検討）	実施（計画期間内・時期要検討）	◎				
			公共交通関連イベントの積極的な活用	・バスの日まつり、利用体験会等の公共交通利用促進イベントの開催、情報発信	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	◎	○	○		
			通勤・通学移動における公共交通利用の促進	・エコ通勤の推進 ・学生向け特別企画学年定期券の周知	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	○		◎		
	国・県・公的団体に対する公共交通利用の働きかけ	・出張等の公務移動時における公共交通利用の促進	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	◎						
	方向性10	公共交通の収支改善	公共交通におけるサポーター制度の導入検討	・公共交通を住民や企業で支えるサポーター制度の導入検討 ・住民や企業による鉄道駅やバス停の維持管理	検討	検討	検討	検討	検討	◎		○	○	
			車両広告・ラッピングの募集	・車両ラッピング、バス停上屋への広告設置等による定期的な収入の確保	検討	検討	検討	検討	検討	○	◎			
			ネーミングライツの導入検討	・バス停名若しくは副名称のネーミングライツによる定期的な収入の確保	検討	検討	検討	検討	検討	○	◎			
	方向性11	地域連携の推進	住民との意見交換会の実施	・住民が主体的に公共交通に関わるための意見交換会の開催	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	○	○	◎		
			地元大学・高校と連携した公共交通施策の検討	・地元大学・高校と連携した公共交通施策の検討・展開	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	◎		○	○	
			学生アルバイトの雇用	・会計年度職員として学生アルバイトを雇用し、公共交通関連業務に従事することで、公共交通への理解・意識醸成、地元への定着を促進	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	○		◎	○	
		公共交通セミナーの開催	・交通事業者や学識経験者を講師とした公共交通セミナーの開催	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	実施（継続）	○	○	◎	○		